

## 平成17年度第3回図書館協議会会議録

日 時 平成18年2月18日(土)午後1時30分～4時30分  
場 所 鎌ヶ谷市立図書館3階保育室  
出席委員 菊池委員長、倉田副委員長、三門副委員長、寺島委員、浜口委員、  
大八木委員、伊藤委員  
欠席委員 奈良委員、小茂田委員、河永委員  
事務局 齊藤図書館長、木田生涯学習課長、林主査補  
傍聴者 無し

1 開会のことば 倉田副委員長

2 委員長あいさつ

3 議 事

議事録署名人の指名 倉田副委員長、三門副委員長

報告事項

①平成17年度図書館業務委託に関する視察、問い合わせ状況について

事務局 資料に基づき説明。

各市とも行財政改革への取り組みとして、指定管理者制度の導入が図書館運営にも影響があり、そのため本市の業務委託の現状と課題についての調査や問い合わせが多く、具体的には市職員から民間事業者に変わって市民の反響と市職員の業務内容等に関する質疑が多い。

委 員 人員については、前年度まで図書館に派遣された人や非常勤の職員を委託業者に雇用されている関係から、特に変化はないと思う。

委 員 カウンターでの利用者の意向を選書や事業に反映されるかが課題であると思う。事務局 利用者の意向を選書や事業・行事に反映させるため、毎週1回定期的に委託業者と職員が打合せを行い、極力利用者の意向を取り入れた事業運営を行っている。

委 員 児童コーナーでは児童書に関し、的確に対応できる職員を配置願いたい。単に端末機だけで検索することは誰でもできるので、経験豊富な職員の配置を要望する。委員 業者の職員の研修はどのようにされているのか。

事務局 業者の職員については、業者の責任において実施している。本年度は個人情報保護に関する事と窓口での接遇研修を実施したが、来年度はご指摘されたように職員のスキルアップを図れるように、レファレンスや児童等の職員研修への参加が可能であるので、資質の向上に努めたい。

委 員 週1回の打合せで細かい内容まで話し合いができるのか。

事務局 あくまで週一回の打合せは行事や事業及び利用者対応等が主であるが、日常業務については、その都度話し合いは各担当者間で行っている。

委 員 他市の視察時に図書館ボランティアの意識が低下しているとのことであったが、図書館ボランティアはどのような事をされているのか。

事務局 図書館は、本の読み聞かせ等の専門的なボランティアさんの他、月末の整理日に  
書架の整理や本の整理等を実践しているボランティアさんもいるが、業務委託範囲で  
あるため、月末の整理日のボランティアさんが来なくなったのは事実でありますので、  
今後学校図書館での受入等、他の施設での受入について検討したい。

委員 学校図書館の運営状況はどうなっているのか。

事務局 2月15日に学校図書館担当者と会議を行ったが、各校ともバラバラであり課題  
も多いとの印象を受けた。

委員 品川区では、学校図書館の運営を民間業者に委託しそれなりの成果を上げている。

委員 ボランティアについては、従来と違う形態で意義付けで、関わってもらうことも  
必要である。

### 協議事項

#### ①鎌ヶ谷市子ども読書活動推進計画について

事務局 この度、子ども読書活動推進に関する関係課及び機関での計画(案)が取りまと  
められたので、主管課の生涯学習課長より説明します。

生涯学習課長 国の基本計画及び千葉県との推進計画を基に、策定したもので①計画の基本  
方針②現状と課題③取り組み④環境の整備⑤情報提供と啓発活動⑥関係団体との連  
携及び資料として鎌ヶ谷市生涯学習施策体系(子ども読書活動推進の体系図)とな  
っております。

皆様のご承認を得られた後は、印刷を行い3月下旬までには製本し配布する予定  
でございます。今後は、この計画の進行管理をきちんとしてまいりたいと考えて  
おります。

委員 子育て支援機関として、児童センター、保育園は掲げられているが、幼稚園が入  
っていない理由は…… 幼稚園でも子どもの読書活動を既に実施しています。

生涯学習課長 特に意図はないが、幼稚園協会と調整し検討したい。

委員 この計画をきっかけにボランティア活動がしやすくなると大変よいことである。委  
員 外国語を母国語としている子どもたちへの対応はどうするのか。

委員 幼稚園ではそれほど抵抗感なく日本語に順応しているので問題はないと思う。

委員 この計画は、子どもの読書環境を整えることを基本としているので、貸出冊数や  
参加人数等の結果について数字のみで評価することは好ましくない。

委員 学校図書館の人員不足については、きりり先生の採用条件に司書教諭資格を考慮  
することも必要と思う。

#### ②平成18年度会議計画について

事務局 別紙資料に基づき説明。

委員 学校図書館の訪問は画期的なことであり、新学期の体制後6月に実現したい。

事務局 学校図書館の状況を把握することは良いことであると思うが、視察後図書館協議  
会として、学校図書館運営についてどの程度反映できるかが課題であると思う。

委員 館長の考えも理解するし、学校側の実情もあると思うので、今回の学校訪問はあ

くまで図書館の運営状況を見て知るということでよい。

事務局 そのようであれば教育委員会を通じ、学校側と協議したい。

委員 図書館では、学校図書館の実態をどの程度把握しているのか。

事務局 先程も申し上げたように、学校図書館の運営状況について、図書担当者会議では資料を提出していただき、運営状況を伺ったところです。

委員長 それでは、次回にその資料を参考に検討することとし、学校訪問については委員長と事務局で調整したい。

③その他 特になし

4 閉会のことば 三門副委員長

会議録署名人署名

以上、会議の経過を記載し相違のないことを証明するため次に署名する。

平成18年2月28日

氏名 倉田智子

氏名 三門博子